

企画展

すこし昔の 中津川

資料で知る地域の歴史

中津川の近代の歴史が
分かる展示だよ！



主催：公益財団法人関記念財団

共催：中津川市

後援：中津川市教育委員会

一般社団法人中津川市文化協会



「中津 恵那峡 恵那山 御案内」
(中津観光協会、昭和初期)
個人蔵

こちらは恵那峡方面。美しい風景を求めて人々がやってくる。昔はボートで川巡りもできた。

江戸時代、疫病を防ぐ力を持つと言われた「籠かき」武兵衛の祠。厄除け祈願スポット。

昔は網で小鳥を捕って焼き鳥にして食べました。今は野鳥を勝手に捕まえてはいけません。

1902年に開業した歴史ある駅。

江戸時代のおもかげを感じる歴史的な街並みは、今も昔も中津川の魅力！

渋沢栄一の協力も得て設立（最初の名前は中津製紙）。中津川の近代化の原動力になった！

中津商業高校は1922年に創立した。

2024年 11.24日 ▶ 12.8日

9時～21時30分 最終日のみ17時まで

中津川市
ひと・まちテラス
1階展示スペース

JR中津川駅より徒歩7分
(岐阜県中津川市新町2-34)

江戸時代、中津川は宿場町^{しゆくばまち}として栄えていました。しかし、明治維新^{めいじいしん}の後、東京から関西を結ぶ東海道線が開通すると、国内の移動は徐々に鉄道が中心となり、中津川の宿場はにぎわいを失っていきました。地域の人々は、中央線が中津川を通るように国にはたらきかけたり、中津川の豊かな山林と川を使って製紙業^{せいしぎょう}を立ち上げたりして中津川の発展を目指しました。多くの人々の努力が今につながっています。

今回の展示では、江戸時代の終わりから昭和までの「すこし昔」の中津川に注目し、過去 150 年の間に中津川がたどった歴史を分かりやすく解説します。中津川の近代化に力を尽くした菅井蟻^{すがいかく}がのこした様々な歴史的資料のほか、絵葉書や観光パンフレットなど、中津川をはじめ近くの恵那峡^{えなきょう}などを訪れた人々が目にしていたものもご紹介します。

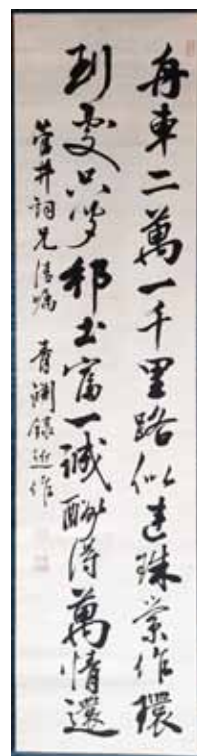
画家や文人が集まるサロン・四時庵(しじあん)を建て、自身も文化人として活動しました。



中央製紙（現在の王子製紙）絵葉書〈大正期〉 個人蔵



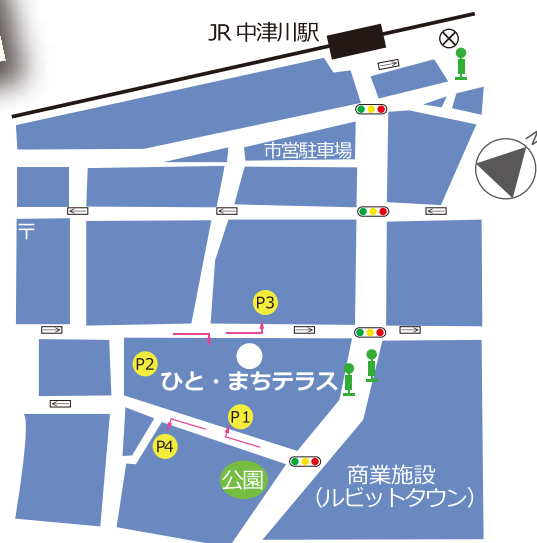
菅井蟻肖像〈大正期〉 関記念財団蔵



浪沢栄一の掛軸〈明治期〉 関記念財団蔵



中津川・恵那峡の観光案内〈昭和初期〉 個人蔵



会期中のイベント

吉田稔 博士 講演会
微生物のちから 食べものからクスリまで

講師：吉田 稔
(農学博士 東京大学特別教授・名誉教授、
理化学研究所理事、令和4年文化功労者)

2024年11月30日(土)

14時～15時30分
中津川市 ひと・まちテラス
1階 活動室 101a-101c
入場無料

申込は関記念財団 HP をご覧下さい。

中央線全線開通記念スタンプ
(1911年) 関記念財団蔵

企画：関記念財団
設営：皇學館大学 学芸員課程 学生有志
展示統括：長谷川 怜 (皇學館大学准教授)



関記念財団 HP

お問合せ先：関記念財団
TEL・FAX：0573-67-7272 (不定期在住)
E-mail：seki-zaidan@axel.ocn.ne.jp
508-0022 中津川市北野町4番1号

電車でお越しの場合：JR 中津川駅から徒歩約7分
バスでお越しの場合：北恵那バス「淀川バス停」から徒歩約3分
車でお越しの場合：中央自動車道 中津川 IC から車で約10分